

NO! リニア

9条堅持!



山岡けんじ

No. 6 5

2013年7月18日

J R 東海労働組合

リニア反対プロジェクト

南アルプストンネル工事で環境破壊が懸念 静岡地本が県と市に要望書提出!

7月17日、静岡地本は静岡県知事および静岡市長宛てに、リニア中央新幹線建設に関わる問題に対する要望書を提出しました。この要望は、南アルプストンネル工事によって、大井川水系の枯渇や重金属汚染が懸念される中、自治体からJ R 東海に対しアセスメント調査結果の開示を求めるなどの項目を盛り込んでいます。既に、二軒小屋付近でボーリング調査が進んでいるという情報があります。

県では環境局生活環境課、市では環境局環境総務課が窓口となり、若干の議論を行いました。県、市共に「環境破壊があっては困るというのは共通認識。J R 東海が今秋に出す『準備書』をよく検討していく」と、要望書を快く受け取って頂きました。

要望は以下の通りです。

1. 南アルプスのボーリング調査の結果を公表するように、県（市）からJ R 東海に要請して下さい。

また、この結果をリニア推進派でない地質学者に分析を依頼して下さい。

2. 南アルプスのトンネル工事の際に発生する土砂、いわゆる廃土の具体的処分方法の公表を、県（市）からJ R 東海に要請して下さい。

また、廃土処分の際、工事現場から処分場所までの道路の新設や拡張について計画がありましたら、県（市）からJ R 東海に公表を要請して下さい。

3. 仮に、大井川水系の土壌汚染や水道水の枯渇が生じた場合、誰がどのように責任を取るのか、また補償はどのようにするのかを、県（市）からJ R 東海に求めて下さい。

4. 1～3の結果を、県（市）の広報紙やホームページ等で公表して下さい。

5. 南アルプスのトンネル工事によって、甚大な被害が発生する恐れがある場合、または、疑問や問題点が解決出来ない場合は、県（市）として工事の差し止めを行って下さい。